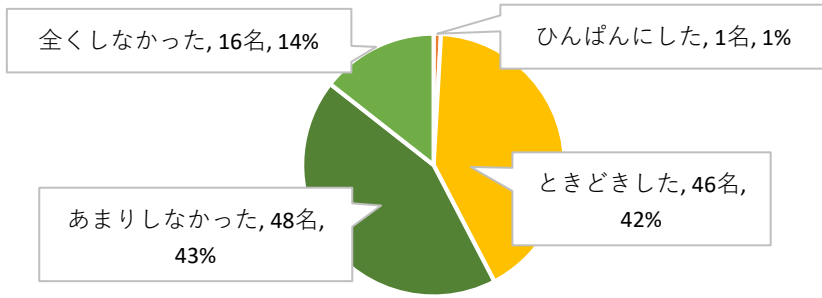


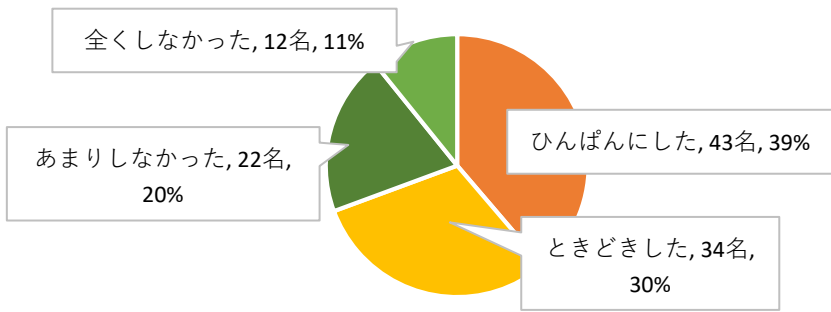
作新学院大学女子短期大学部
学修行動調査 2023（2年生）

1. 目的：本学の教育の成果を把握すると共に、学生の意識・活動歴等と学修成果との関連性を分析し、改善のための手がかりを得ることを目的とする。
2. 調査期間：2023（令和 5）年 11 月 27 日～12 月 15 日
3. 調査対象：1年生 117名
4. 回答数：111名（回答率 94.9 %）
5. 情報公開日：2024.4.12

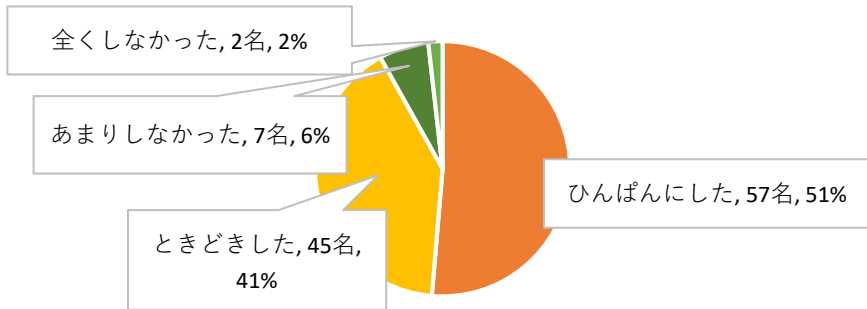
Q1.授業課題のために図書館の資料を利用した



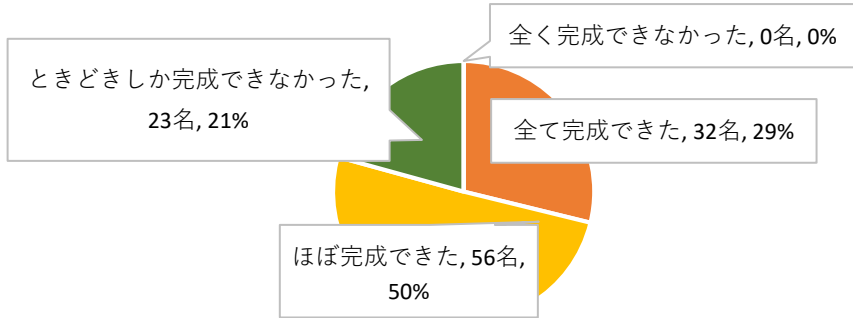
Q2.授業課題のためにWeb上の情報を利用した



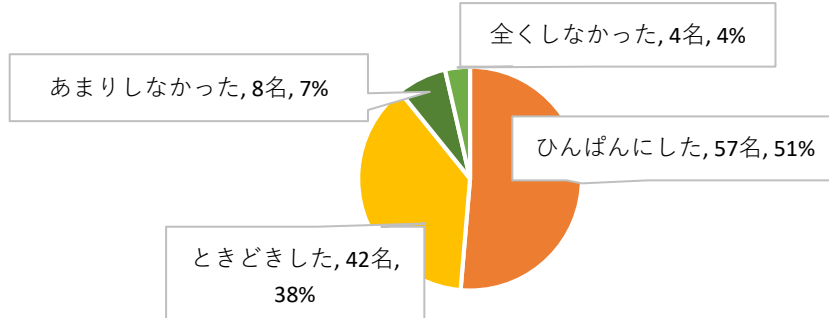
Q3.インターネットを使って授業課題を受けたり提出したりした



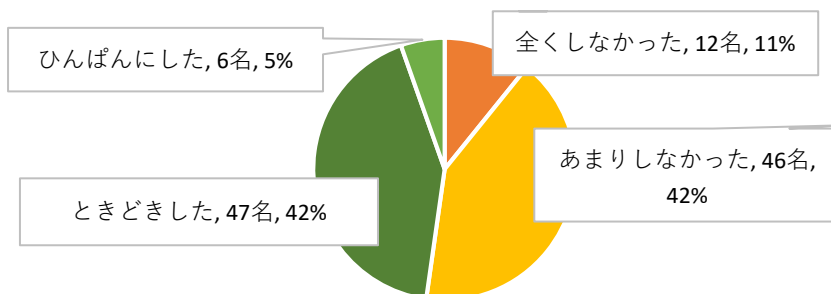
Q4.提出期限までに授業課題を完成できなかった



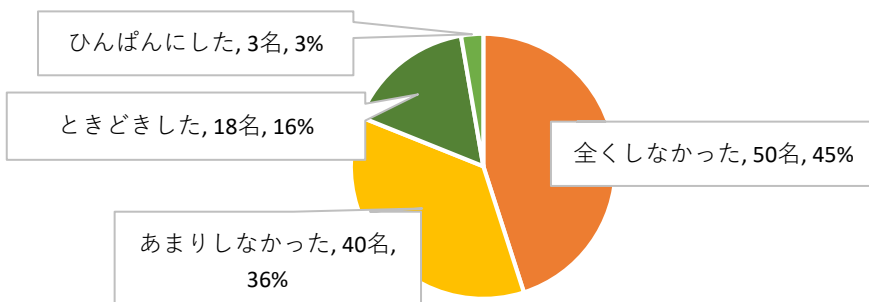
Q5.授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、
授業内容を話したりした



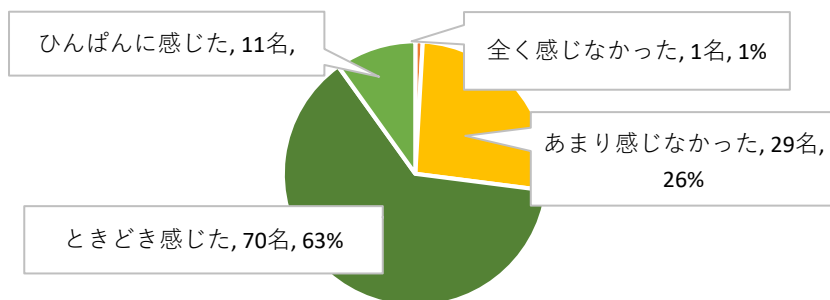
Q6.授業を欠席した



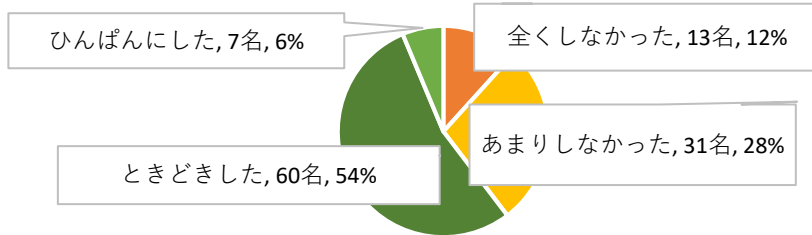
Q7.授業に遅刻した



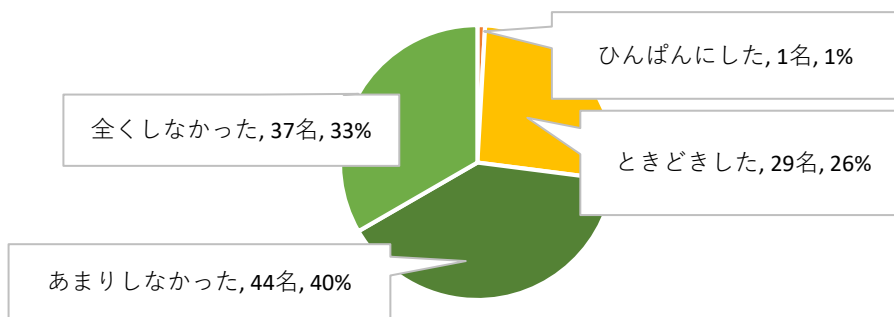
Q8.授業をつまらなく感じた



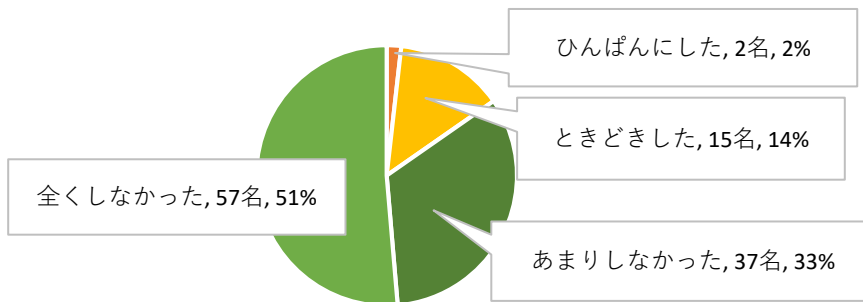
Q9.授業中に居眠りをした



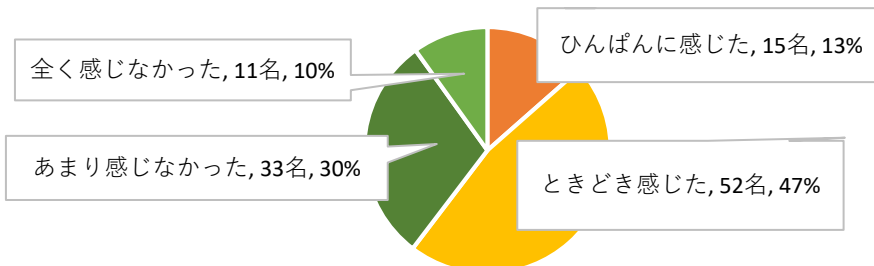
Q10.教職員と面接の場所・日時・回数などを調整し会議室などの部屋で将来のキャリアの相談をした（卒業後の進路や職業選択など）



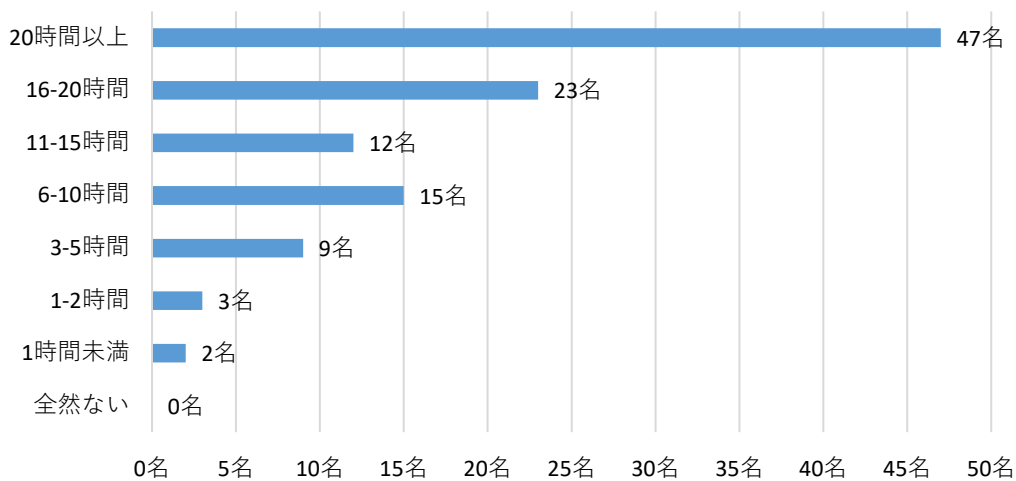
Q11.授業開始前後の教室内、昼休みや放課後、オンラインなどを通じて教員に将来のキャリアの相談をした（卒業後の進路や職業選択など）



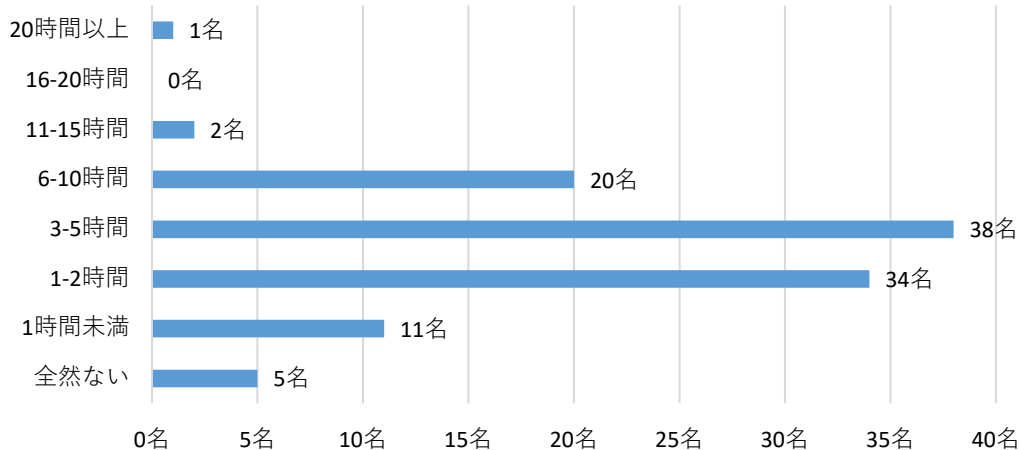
Q12.教員に親近感を感じた



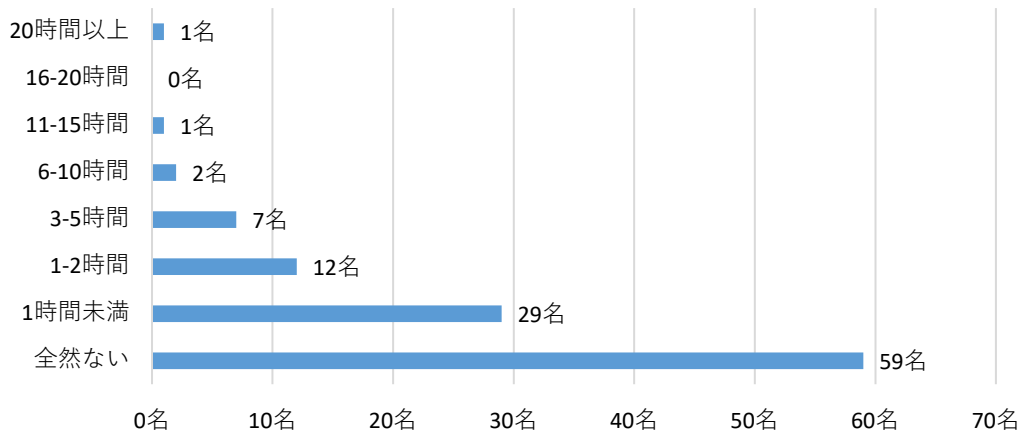
Q13.週あたりの活動時間：授業や実習に出る



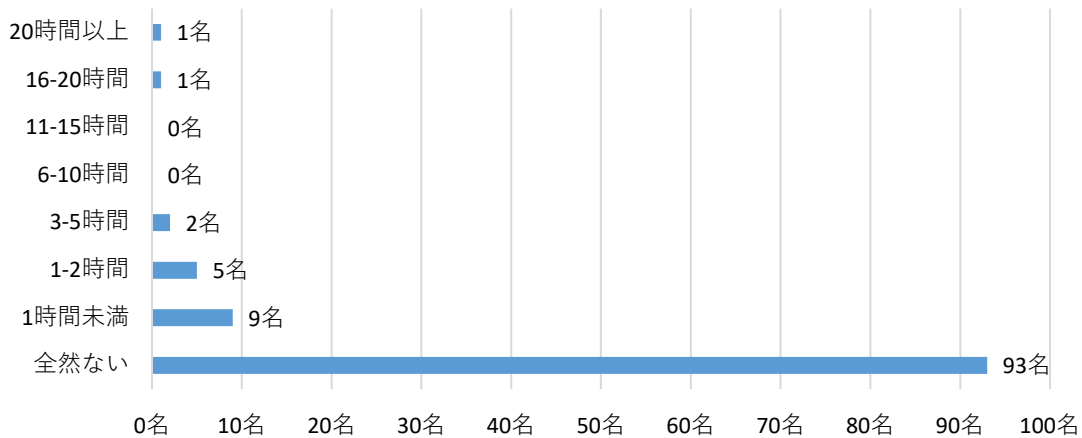
Q14.週あたりの活動時間：授業時間以外に、授業課題や準備学習、復習をする（ピアノの練習など実技系の取組みも含む。）



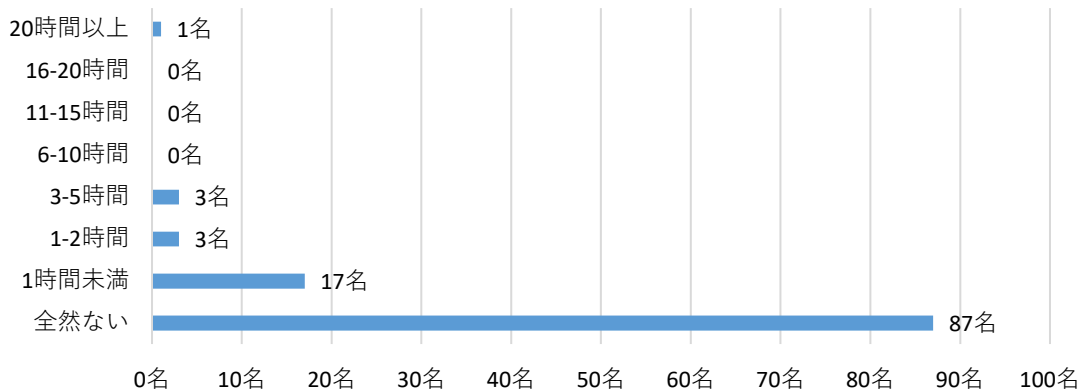
Q15.週あたりの活動時間：授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする



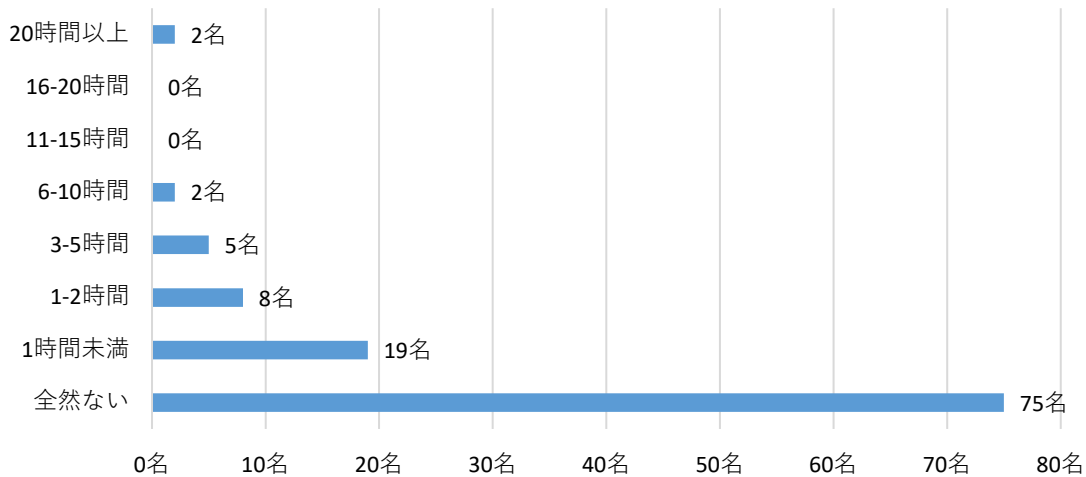
Q16.週あたりの活動時間：教職員と場所・日時・回数などを調整し、
会議室などの部屋で授業（学習活動）や学生生活に関する相談をした



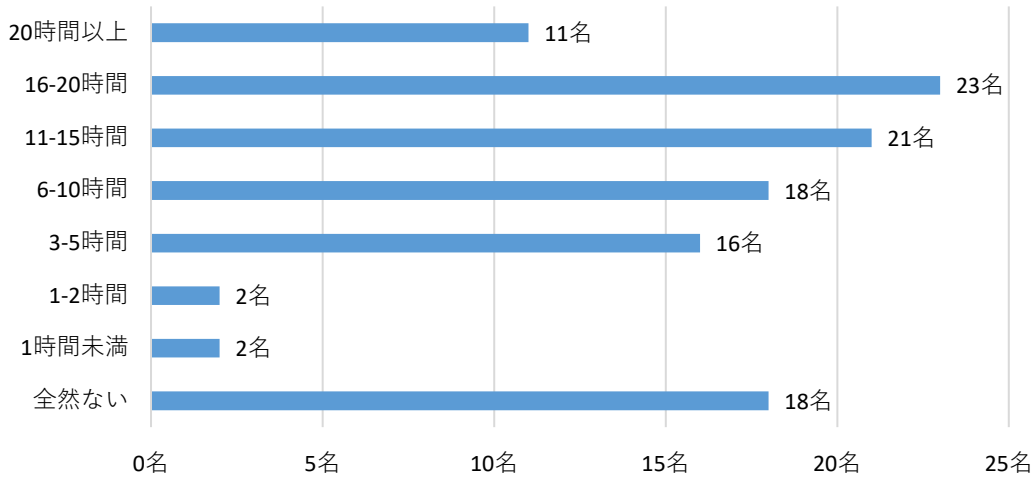
Q17.週あたりの活動時間：授業開始前後の教室内、昼休みや放課後、
オンラインなどを通じて教員に授業（学習活動）や学生生活に
関する相談をした



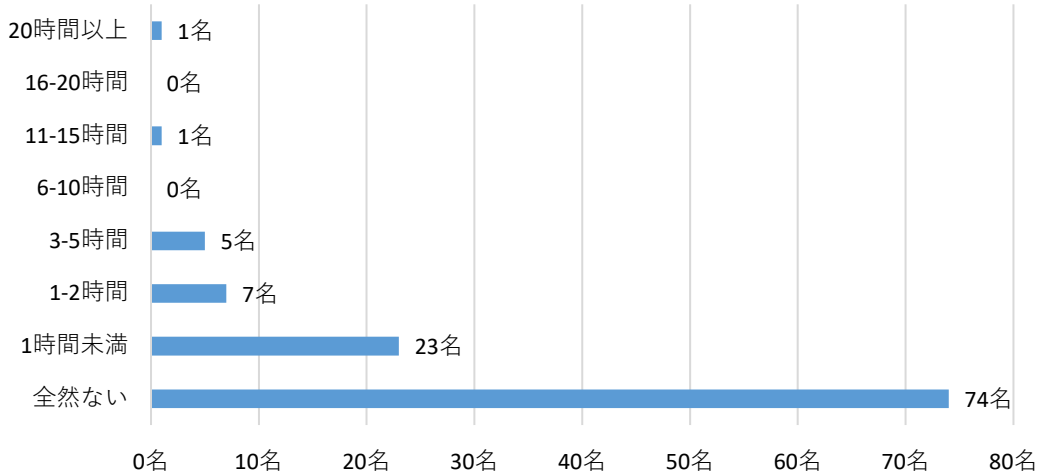
Q18.週あたりの活動時間：部活動や同好会に参加する



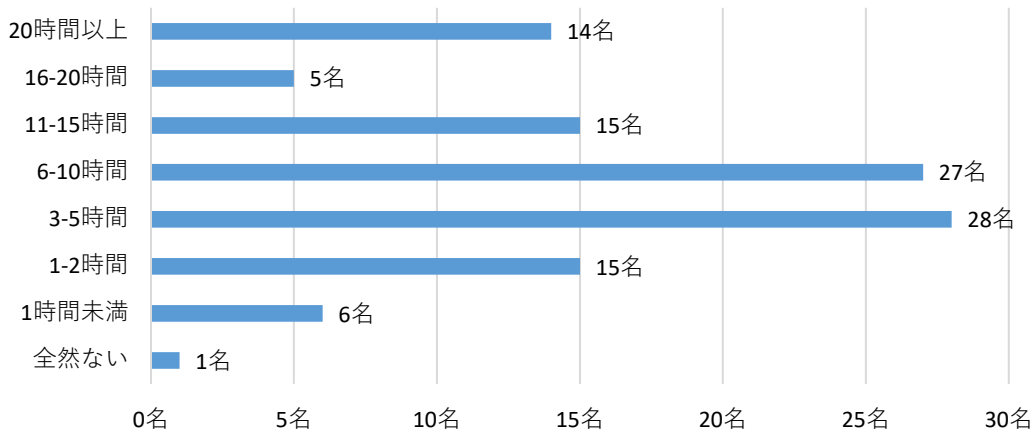
Q19.週あたりの活動時間：大学外でアルバイトや仕事をする



Q20.週あたりの活動時間：読書をする（マンガ・雑誌を除く）



Q21.週あたりの活動時間：個人的な趣味活動をする
(テレビやゲーム、映画鑑賞など)



Q22.作新短大に入学してから、学習を通して能力が変化したと感じる項目を選択してください（複数回答可）

